

# 中和地区開基105年 中和小生誕100年



# 祝

## \*\*\*桜120本を植樹\*\*\*

### 満開の桜の下で

中和小学校が開校して二年余りの月日が経ちました。惜しまれながら閉校となった中和小学校は、地域にとっても、心のよりどころであったことでしょう。

五月十日(木)

中和地区開基百五年・中和小生誕百年を記念して、記念植樹事業実行委員会(池田正弘委員長)の主催による植樹祭が行われました。

小学校周辺グラウンドに桜の苗木百二十本を地域の方々が町長も参加して一本一本ていねいに植樹しました。

この植樹祭に向けて、一週間前から、地域のみなさんが汗して、苗木が枯れないよう、掘り起こしたグラウンドの土に肥料を加えるなどの作業を行ってきたそうです。

グラウンド半面にもなる広さに植えられた桜の苗木を眺めながら、池田委員長は、「いつか、満開の桜の下で、子どもたちや孫たちと花見などをして憩いの場となればいいなと思います。」

と、笑顔で話してくれました。



見上げれば満開の桜が咲き乱れ、足元には春風で舞い散り落ちた桜の花びらでいっぱい。その桜のジュータンを無邪気に走り回る子どもたち。大人たちも楽しく花見を楽しんでいる。中和地域にも、再び、心よりどころが、また一つ、桜の季節とともにやってくることでしょう。



### 憧れを胸に

この植樹祭が行われる前日に中和へ神奈川県から移住して来られたご家族がいらつしやいました。そのご家族が柳田さんご一家です。

夫の柳田 弘さんは元教員で75歳。剣道教士7段の腕前を持つご主人は、この地域を選んだ理由と今後の生活について、「以前から、北海道に住むことが夢で、憧れを胸にこの和寒町へやってきました。水がきれいだし、自然も豊か。何よりも和寒の人柄は最高です。今後、中和小学校の一部を利用して剣道の形や剣道の歴史などの勉強会を開けたらと思っています。立派な校舎と大きな歴史をしようた校舎を大切に活用させていただきます。」

また、妻の喜久英さんも水墨画や手芸、刺繍など多趣味をお持ちの方で、「地域のみなさんと一緒に楽しんで生活していきたい」と話してくれました。



植樹祭に参加された柳田さん(写真右下)



5月1日から北原交流展示館がオープンしています。

2階ギャラリーさわらび館では、今年から町内在住の書家石田天洲先生の作品を集めた、「石田天洲展 書と創造の世界」を新たに開催しております。

また、6月からは企画展「公民館講座展～ツールペイントとデジカメ写真～」などの開催も予定しております。

開館時間： 10:00～16:00  
休館日： 月・火曜日(祝日は開館)  
入場料： 無料



北原交流展示館  
オープンしました